

令和4年春の叙勲において アンビス取締役の大柴福子が「瑞宝双光章」を受章

令和4年春の叙勲において、株式会社アンビス（本社：東京都中央区、代表取締役：柴原慶一）の取締役である大柴福子が、「瑞宝双光章」を受章しました。

瑞宝章は、日本の勲章の1つで、国及び地方公共団体の公務、または公共的な業務に長年にわたり従事して功労を積み重ね、成績を挙げた人を表彰する場合に、男女に共通して授与される勲章です。

大柴は、国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院看護部長として、長年にわたりがん患者の方々へのケアに従事してきました。また、現在では当社の取締役兼看護介護部長として、がん患者をはじめとした医療依存度が高い方へのケアを提供する医心館の運営をサポートしております。

受章者である大柴の経歴や看護にかける思いは、当社ホームページにて紹介しており、下記リンクよりご覧いただけますので、ぜひご一読ください。

■内閣府「令和4年春の叙勲等」

<https://www8.cao.go.jp/shokun/hatsurei/r04haru.html>

■Amvisにおける看護師の活躍を支えたい 病院の看護部長を歴任して当社へ参画

<https://www.amvis.com/story/ohshiba/>

■アンビスグループが運営する「医心館」概要

医心館は、通常の介護施設では受け入れが困難な「がんの末期状態にある方」、「人工呼吸器を装着されている方や気管切開を受けている方」、「神経変性疾患など特定疾患の方」、「入退院を繰り返さざるを得ない方」、「お看取り対応の方」などを積極的に受け入れ、看護師・介護士による24時間365日の安心ケアを提供する有料老人ホームです。地域の医療機関や薬局、介護事業所と積極的に連携し、多職種の“シェアリング病床”として機能しています。

※2022年7月末時点において、56施設2,700名を運営。

2023年8月末時点において、医心館は73施設3,620名となることを予定。

<会社概要>

社名：株式会社アンビスホールディングス

所在地：東京都中央区八重洲二丁目7番2号 八重洲三井ビルディング4階

代表者：柴原慶一

設立：2016年10月

事業内容：がん末期状態にある方や人工呼吸器を装着されている方等医療依存度が高い方を対象とし、慢性期と終末期の看護・介護ケアに特化したホスピス「医心館」を運営。

<問い合わせ先>

担当 株式会社アンビスホールディングス 問い合わせ窓口 浅井

TEL：03-6262-5105 E-MAIL：ir_contact@amvis.co.jp URL：<https://www.amvis.com>